

# 一般社団法人国立医療学会議事録

## 国立医療学会理事会

平成22年11月26日（金）午前8時30分より、福岡県福岡市博多区石城町2-1の福岡国際会議場 5階 国際会議室501において、理事会を開催した。

理事総数 16名 出席理事 14名 欠席理事 2名  
監事総数 2名 出席監事 2名

上記のとおり定足数に足る理事の出席があったので、定款第24条第3項に従って 理事長 矢崎義雄が議長となり開会を宣するとともに、直ちに議案の審議に入った。

### 第1号議案 評議員の推薦について（資料1）

事務局より説明があり、議長が出席理事に賛否を問うたところ、原案のとおり満場一致をもって承認可決した。

### 第2号議案 第43回塩田賞の決定について（資料2）

事務局より説明があり、議長が、定款施行細則第19条第2項により、塩田賞選考委員会にて選考された論文2編を第43回塩田賞授賞論文とする旨、賛否を問うたところ、満場一致をもって承認可決した。

### 第3号議案 定款施行細則の変更について（資料3）

事務局より説明があり、議長が出席理事に賛否を問うたところ、原案のとおり満場一致をもって承認可決した。

### 第4号議案 『医療』投稿規定の変更について

事務局より説明があり、議長が出席理事に賛否を問うたところ、原案のとおり満場一致をもって承認可決した。

議長は、以上をもって本日の議事を終了した旨を述べ、午前8時35分閉会を宣した。

## 国立医療学会臨時社員総会・評議員会

平成22年11月26日（金）午前8時35分より、福岡県福岡市博多区石城町2-1の福岡国際会議場 5階 国際会議室501において、臨時社員総会・評議員会を開催した。

社員総数 43名 出席社員 40名（うち代理権の授与を行った社員 6名）

上記のとおり定足数に足る社員の出席があり、本臨時社員総会・評議員会は適法に成立したので、理事長 矢崎義雄が議長となり開会を宣するとともに、直ちに議案の審議に入った。

### 第1号議案 評議員の選任について（資料1）

議長が出席社員に諮ったところ、理事会推薦のとおり満場一致で承認可決した。

### 第2号議案 平成21年度収支決算について（資料4）

議長が出席社員に諮ったところ、原案のとおり満場一致で承認可決した。

### 第3号議案 平成23年度収支予算について（資料5）

事務局より説明があり、議長が出席社員に諮ったところ、原案のとおり満場一致で承認可決した。

### 第4号議案 定款の変更について（資料6）

議長が出席社員に諮ったところ、原案のとおり満場一致で承認可決した。

### 第5号議案 第66回国立病院総合医学会について

国立病院総合医学会運営委員会と合同で審議を行い、第66回国立病院総合医学会開催地については、近畿ブロック管内より、大阪医療センターを学会長施設、兵庫中央病院を副学会長施設とする旨、議長が出席社員に諮ったところ、原案のとおり満場一致で承認可決した。

以上をもって本日の議事が終了したので、午前8時40分、臨時社員総会・評議員会は閉会した。

資料1

一般社団法人国立医療学会 評議員候補者名簿 (案)

氏名	所属	役職名	任期	備考
内藤 博昭	国立循環器病研究センター	病院長	H22. 11. 26~H24'定時総会	
中村 伴子	国立病院機構東名古屋病院附属リハビリテーション学院	教育主事	H22. 11. 26~H24'定時総会	

(50音順, 敬称略)

資料2

第43回 塩田賞受賞論文 (案)

受賞論文	所属施設名	受賞者氏名
肺結核治療における肝障害と INH 代謝 「医療」63巻 第5号	国立病院機構千葉東病院 (上野, 平井, 生城山, 曾東及び中村は千葉大学大学院薬学研究所所属)	佐々木結花 山岸文雄 川崎剛 志村龍飛 水野里子 藤川文子 上野光一 平井成和 生城山克己 曾東貴代 中村高行
SMID データベースから見た重症心身障害児(者)の重症化 「医療」63巻 第11号	国立精神・神経医療研究センター病院 (宮野前は国立病院機構南京都病院, 山本は国立病院機構下志津病院所属)	佐々木征行 宮野前健 山本重則 今井雅由
		計 15 名

資料3

国立医療学会定款施行細則 新旧対照表 (案)

改正後	改正前
<p>(会費)</p> <p>第21条 正会員及び賛助会員の会費は, 次のとおりとする.</p> <p>(1) 個人の場合                      医師……年額7,800円                      上記職種以外……年額4,000円</p> <p>(2) 法人の場合……年額10,200円</p>	<p>(会費)</p> <p>第21条 正会員及び賛助会員の会費は, 次のとおりとする.</p> <p>(1) 医師……年額7,800円                      (2) 上記職種以外……年額4,000円</p>

## 平成21年度 国立医療学会 収支決算 (案)

自 平成21年4月1日

至 平成22年3月31日

収入の部		支出の部	
科目	金額	科目	金額
	千円		千円
会費等収入	11,344,023	「医療」印刷費	9,549,015
会費収入	11,344,023	編集費	1,809,788
事業収入	7,485,944	編集室事務費	402,052
購読料収入	7,430,190	編集会議費	389,636
「医療」購読料	6,194,900	編集会議出席旅費	989,350
超過別刷料	360,090	英文添削料	28,750
受取広告料	875,200	管理費	7,976,364
利用許諾料収入	55,754	給料手当	4,039,367
受取利息	1,513	賞与	1,167,826
雑収入	53,866	法定福利費	651,151
		福利厚生費	32,655
		旅費交通費	13,360
		通信運搬費	67,718
		消耗品料	53,352
		事務委託料	920,858
		支払手数料	241,500
		塩田賞経費	556,438
		雑費	231,840
		租税公課	299
		学術総会補助	3,000,000
		寄付金	3,000,000
		特別損失	70,000
		法人税・住民税等	70,000
当期収入合計	18,885,346	当期支出合計	22,405,167
前期繰越	3,432,887	次期繰越	△ 86,934
合計	22,318,233	合計	22,318,233

平成23年度 国立医療学会 収支見込 (案)

自 平成23年4月1日

至 平成24年3月31日

収入の部		支出の部	
科目	金額	科目	金額
	千円		千円
会費等収入	12,086	印刷費	9,087
会費収入	12,086	「医療」印刷費	9,087
事業収入	7,192	編集費	1,635
購読料収入	7,192	編集室事務費	400
「医療」購読料	5,957	編集会議費	300
超過別刷料	360	編集会議出席旅費	900
受取広告料	875	英文添削料	35
		管理費	7,960
		給料手当	4,500
		法定福利費	600
		旅費交通費	100
		通信運搬費	100
		消耗品費	100
		支払手数料	350
		事務委託費	1,400
		塩田賞経費	510
		雑費	300
		学術総会補助	0
		特別損失	254
		法人税・住民税等	254
当期収入合計	19,278	当期支出合計	18,935
前期繰越	256	次期繰越	599
合計	19,534	合計	19,534

## 国立医療学会定款 新旧対照表 (案)

新	旧
<p>(目的)</p> <p>第3条 当法人は、国立高度専門医療研究センター、国立ハンセン病療養所、独立行政法人国立病院機構等に勤務する会員の資質の向上、医療の進歩発展、教育並びに研究の促進を図り、もって国民医療の向上に資すること及び会員の相互親睦に寄与することを目的とし、次の事業を行う。</p> <p>(1) 学会、研究会、講習会等の開催</p> <p>(2) 機関誌等の発行</p> <p>(3) 国民医療の発展向上に関する調査、研究及びその褒賞</p> <p>(4) 関係諸団体との連携及び交流事業</p> <p>(5) その他当法人の目的を達成するために必要な事業</p>	<p>(目的)</p> <p>第3条 当法人は、国立高度専門医療センター、国立ハンセン病療養所、独立行政法人国立病院機構等に勤務する会員の資質の向上、医療の進歩発展、教育並びに研究の促進を図り、もって国民医療の向上に資すること及び会員の相互親睦に寄与することを目的とし、次の事業を行う。</p> <p>(1) 学会、研究会、講習会等の開催</p> <p>(2) 機関誌等の発行</p> <p>(3) 国民医療の発展向上に関する調査、研究及びその褒賞</p> <p>(4) 関係諸団体との連携及び交流事業</p> <p>(5) その他当法人の目的を達成するために必要な事業</p>